

平成30年度



赤木小だより

平成30年11月15日 No.24 文責 校長 鈴木 久

《教育目標》

『豊かな心と総合的な学力を身につけた、たくましい児童の育成』
あ 明るくあいさつをする子ども
か 考えをもって学び合う子ども
ぎ 気持ちよく運動する子ども

交流をとおり読みを広げたり深めたりする6年生!

11月13日(火)、福島大学の斎藤幸男先生をお招きして、国語の授業研究会が6年1組で行われました。6年の重要単元である物語教材「やまなし」です。叙述を手がかりに「五月」と「十二月」の場面对比し、友だちと交流しながら、賢治は「やまなし」という題名にどのような思いを込めたのかを読み深める授業でした。

子どもたちは、「やまなし」という教材や作者とじっくりと向き合い、友だちと対話しながら、「命をつなぐ尊さ」「イーハトーブのような新しい未来」「命をあげる自己犠牲」「自分より相手を優先するやさしさ」「自分は生かされていることへの感謝」「平和への祈りや願い」など子どもなりの表現で「ことば化」していました。

賢治は「やまなし」という題名に
どんな思いを込めたのだろう？

命をつなぐ自己
犠牲かなあ！

十二月も今を生きている。やま
なしは命をあげるために生きて
いるように思えた。

人も力も食っていかなければ
ならない！今を生きるために・・・

自分一人では生きていけない。
自分は周りに生かされているのだ

五月と十二月のイメージ
を短い言葉で表すと・・・

伝え合いができるようになってきた 1 年生!

11月14日(水)、国語の授業研究会が1年2組で行われました。生活科で作った「秋のおもちゃ」を紹介する授業でした。子どもたちは、自分で書いた紹介の文章を友だちにわかりやすく伝えたり、友だちの発表のよさを見つけたりしながら交流することができました。



工夫したところは・・・

見てね! 聞いてね! やってみてね!

ぼくが、わたしが作ったおもちゃを紹介します!

ぼくは、上級編のけん玉を作りました!

小学校最後の持久走記録会

6年生の持久走記録会はとても感動的でした。自己記録更新に向け、力の限り走りきる姿はゴールで倒れ込んでしまうほどの真剣さでした。また声をからして友だちを応援する姿、一緒に伴走して応援する姿、互いを健闘し合い涙を流す姿など、感動の持久走記録会となりました。



がんばれ～ もう少し！
ペースをおとさないで～

